

すべての子供に、 笑顔と夢を。



夢を、貧困につぶさせない。
子供の未来応援国民運動

子供の貧困? この日本で？

生まれ育った家庭やさまざまな事情から、健やかな成長に必要な生活環境や教育の機会が確保されていない子供がいます。困難を抱える子供たちの環境は、コロナ禍でさらに厳しくなっています。

親が深夜まで働いているので、家に帰っても、誰もいない。放課後の居場所がない。

人とのつながりが少なく、社会的に孤立している。

児童養護施設を退所した後の生活基盤が不安定。

高校や大学、専門学校などに進学したいけれど、経済的理由であきらめている。

子供だけの時間が多く保健衛生などの知識や習慣が身につかない。

「頑張っても仕方がない」と将来への希望をなくし、学ぶ意欲をなくしている。

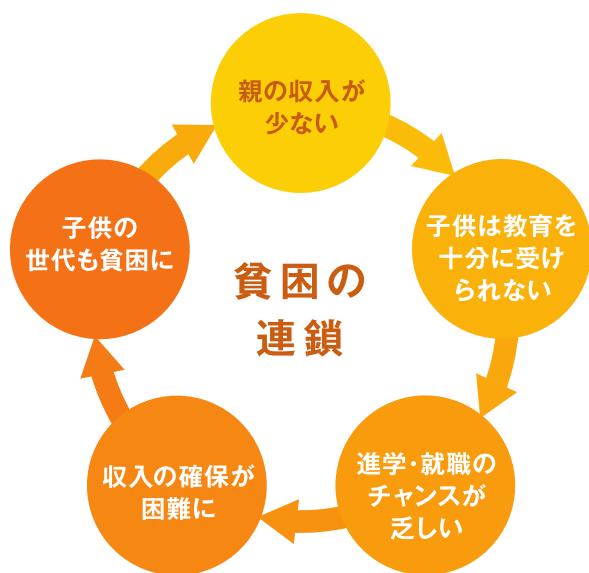
視野を広げる機会や文化的な体験に乏しく、「こんな人になりたい」というロールモデルがない。

栄養バランスのとれた食事は、一日の中で給食しかない。



それぞれの家庭にどんな事情があろうとも、生まれ育った環境によって子供の将来が閉ざされることがあつてはなりません。

放っておくと、 どうなるの？



経済的な困窮にとどまらず、
さまざまな影響を及ぼします。



貧困の状況は次世代にも連鎖し、日本社会
の担い手となる子供の健やかな成長を妨げ、
労働力や市場の縮小、社会保障費の増加など
社会的な損失につながります。

子供一人ひとりの将来と、
日本の将来が閉ざされてしまう。



子供たちの未来を応援することは、
「未来への投資」です。

(注) (公財)日本財団と三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)が2015年12月に発表した推計によると、15歳の子供について、貧困の状況にある子供の進学率や中退率などを改善させた場合と、現状を維持した場合では、生涯所得の合計額の差分2.9兆円および政府の財政負担の差分1.1兆円の社会的損失が発生するとされています。

国は対策を強化しています。

教育を支援

幼児期から高等教育まで
教育費の負担を軽減



生活を支援

親の妊娠期から
暮らしの課題・悩みを解決



保護者の就労を支援

ひとり親などの就労、
学び直しや職業訓練を支援



経済的な支援

生活費や進学等に
必要な支出を支援



2014年
(平成26年)

- 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」施行(1月)
- 「子供の貧困対策に関する大綱」策定(8月)

2015年
(平成27年)

- 地方自治体への交付金を創設[地域子供の未来応援交付金]
- 学習支援の開始[生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援事業]など

2016年
(平成28年)

- ひとり親に対する現金給付(児童扶養手当)の多子加算額を倍増
(第2子について36年ぶり、第3子以降について22年ぶり)など

2017年
(平成29年)

- 奨学金事業を充実[給付型奨学金制度の創設等]
- 児童養護施設等において22歳の年度末まで支援を実施[社会的養護自立支援事業]など

2018年
(平成30年)

- 生活保護世帯の子供に対する大学等進学支援(進学準備のための一時金創設など)
- 児童扶養手当の全部支給に係る所得制限限度額の引上げ

2019年
(令和元年・
平成31年)

- 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」改正(6月)
- 新たな「子供の貧困対策に関する大綱」策定(11月)
- 幼児教育・保育の無償化

2020年
(令和2年)

- 高等教育の修学支援新制度の実施(授業料等の減免、給付型奨学金の支給)
- 高等学校等就学支援金の拡充(私立高校生への支給上限額の大幅な引上げ)

2020年(令和2年)からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、様々な緊急支援を実施

地域子供の未来応援交付金(子供の居場所づくり等への支援)

学生支援緊急給付金

学生等の学びを継続するための緊急給付金

ひとり親世帯臨時特別給付金

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

など

しかし、子供の貧困は見えにくいのです。



子供・家族に貧困であるという自覚がないので、自分から支援を求めるない。

貧困の自覚があっても、周囲の目を気にして表に出せない。

頼れる親戚も、近隣付き合いもなく、地域の目が届かない。

国や地方自治体の支援情報が届かず、社会的に孤立しやすい。



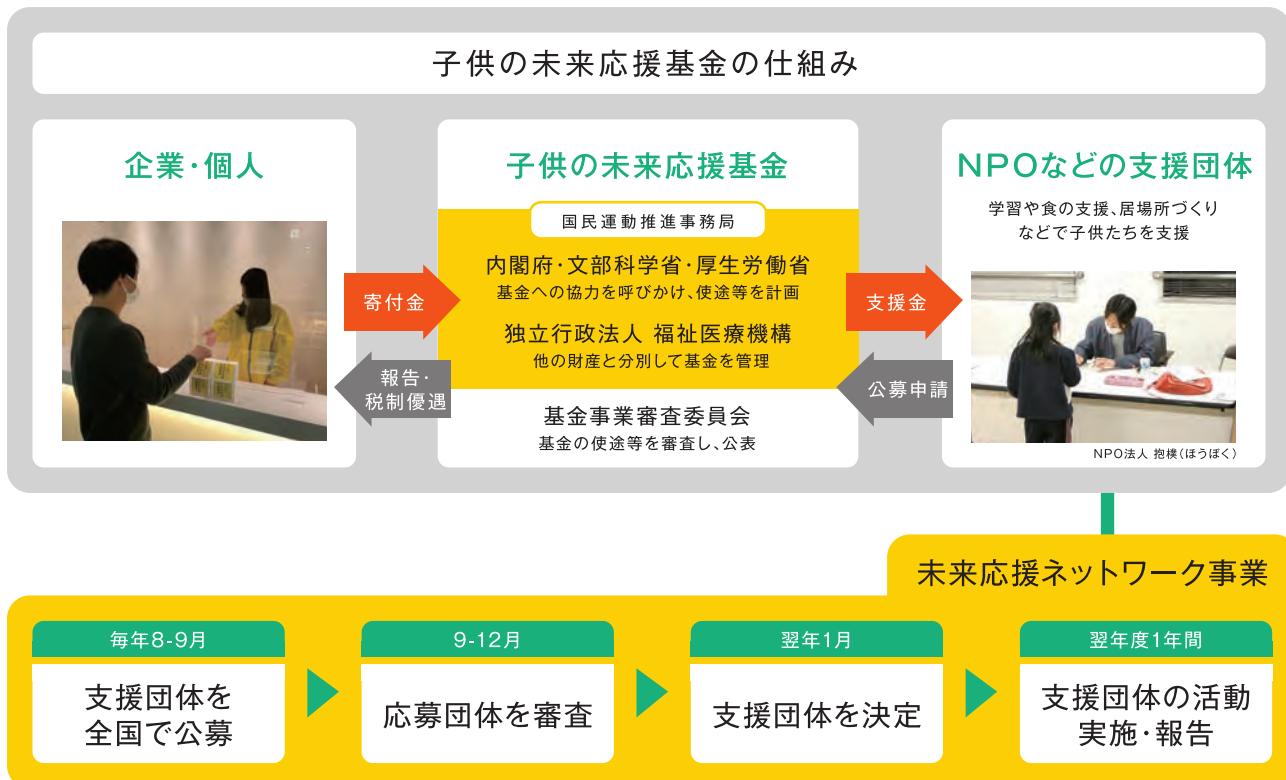
子供の未来応援国民運動で
支援の輪を広げています。



「子供たちのために何かしたい」という想いを持った人々と
草の根で子供たちを支援しているNPOなどの団体を結ぶ取組として、
「子供の未来応援基金」(P.5)と「マッチングネットワーク推進協議会」(P.19)があります。

子供の未来応援基金の創設、活用へ。

国の対策を充実強化とともに、地域密着の草の根支援などに柔軟に対応する基金を創設し、企業や個人から広く寄付を募り、子供たちへの支援を行う団体の活動資金として活用しています。



「支援先をどのように選べばよいかわからない」「全国展開する企業として、地域の偏りなく支援したい」など、皆様が感じている課題に対応し、さまざまな活動を実施する支援団体の審査、選定から事後評価、成果に関する情報発信などをしっかりと行います。



10月

子供の未来応援基金 創設

子供の未来応援国民運動の一環として、寄付を募る活動を始めました。

2016年
7月～

未来応援ネットワーク事業の支援団体を 年1回、全国から公募

基金事業審査委員会で決定

基金への協力企業や有識者などで構成。計画性、連携、広報、継続性などを審査。

第6回未来応援ネットワーク事業事業審査委員会委員

(五十音順、敬称略。所属等は審査当時の名称。)



菊池まゆみ	藤里町社会福祉協議会会長
草間吉夫	宮城誠真短期大学特任教授
小山遊子	株式会社イトーヨーカ堂経営企画室 CSR・SDGs推進部総括マネジャー
笛山衣理	滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局子ども未来戦略室室長
福嶋誠也	横浜市こども青少年局総務部長
宮本みち子	放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授
室田信一	東京都立大学人文社会学部人間社会学科准教授
我妻充史	キヤノンマーケティングジャパン株式会社 企画本部サステナビリティ推進部部長

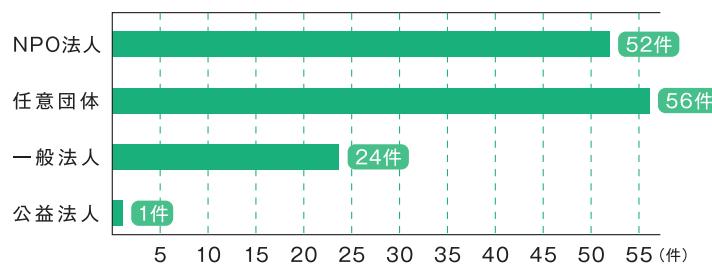
基金を活用して、支援団体が1年間活動

	活動期間	応募数	採択数
第1回支援団体	2016年10月～2017年9月	535団体	86団体
第2回支援団体	2018年4月～2019年3月	352団体	79団体
第3回支援団体	2019年4月～2020年3月	358団体	71団体
第4回支援団体	2020年4月～2021年3月	352団体	97団体
新型コロナウイルス感染拡大への対応に伴う緊急支援	2020年7月～2021年3月	151団体	20団体
第5回支援団体	2021年4月～2022年3月	327団体	96団体
第6回支援団体	2022年4月～2023年3月	515団体	133団体

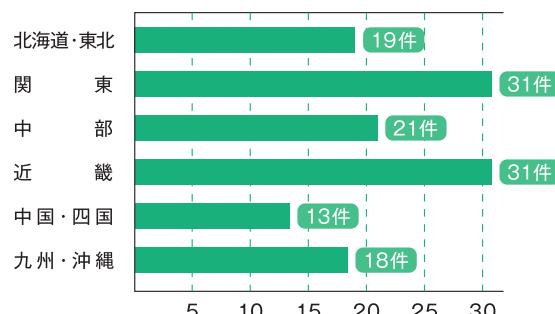
基金への寄付総額は累計約16.3億円(2022年2月末日現在)

コロナ禍の影響により、感染対策の拡大やオンライン対応など、支援団体の取組にも影響が生じる中、対前回の約1.6倍もの団体からの申請がありました。

第6回支援団体の法人区分内訳



第6回支援団体の所在地域別内訳



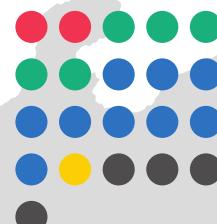
基金の支援を受けて、 全国各地のNPOなどが活動中!!

- 北海道
- 麻生キッチンりあん
 - NPOボラギャング
 - さっぽろ青少年女性活動協会 ★
 - とかちのイベントやさん
 - 陽だまりの家
 - ゆめみへる ★
 - わたわた食堂
- 宮城県
- 石巻復興支援ネットワーク ★
 - おりざの家 ★
 - 鶴が丘一丁目町内会&仙台白百合学生応援隊 ★
 - ほつぶすてつぶ
 - ワタママスマイル ★
- 秋田県
- 秋田たすけあいネットあゆむ ★
 - 幸せサポート いろどり
 - ここはぐ
- 福島県
- 寺子屋キッズ21・しゅくだいカフェ ★
 - 福島就労支援センター ★
 - ふるどの
 - Bridge for Fukushima
- 栃木県
- 風車
- 群馬県
- こども支援団体みんなのおうえん団 ★
- 茨城県
- 茨城YMCA
 - キドックス
- 埼玉県
- カイロス ★
 - 十文字学園女子大学生活環境研究所
 - つばきのわ
- 千葉県
- ウィーズ
 - 子どもの環境を守る会 Jワールド
 - せんなり村 ★
- 東京都
- Aitie
 - あじさいの集い富士見
 - ウーマンライフパートナー
 - 英会話同好会 from OTA ★
 - Kid's Garden
 - きもの笑福 ★
 - 子どもへのまなざし
 - コミュニティー・レストラン「木々」
 - さくら彩
 - 3keys
 - せたがやこどもフードバンク実行委員会
 - なにかし堂
 - フードバンク調布 ★
 - 文化学習協同ネットワーク
 - ポセイドン&チルドレン協会
 - メタノイア

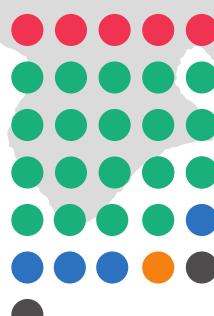
- 神奈川県
- Omoshiro
 - 湘南まぜこぜ計画
 - なんとかなる
 - まちのかぜ ★
 - ユナイテッドかながわ
- 新潟県
- 子どもみらい食堂 ★
 - フードバンクしばた ★
 - フードバンクむらかみ
- 石川県
- 笑顔のこども食堂ネットワーク -GOHAN-
 - NPO制服バンク石川
- 山梨県
- 甲斐市ひとり親支援 コスモスの会
 - bond place
 - 山梨の子どもたちを支援する会 ル・ブーケ
 - WakuWaku塾
- 長野県
- NPOホットライン信州 ★
 - 子ども・若者STEPハウス
 - 末広プロジェクト
 - 諏訪圏域子ども応援プラットフォーム
- 岐阜県
- 教育・地域交流機構 ★
 - 地域たすけあいの会
 - みんなで子育てドロップス
- 静岡県
- はつくら こども・つながり研究所
- 愛知県
- 愛知夜間中学を語る会
 - 小幡緑地冒険遊び場の会
 - はぐくみ
 - 町方ふれあい子ども食堂



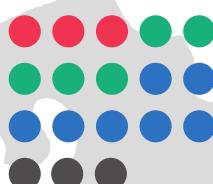
中部



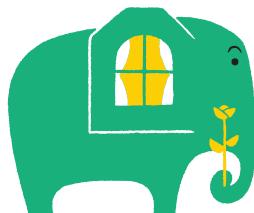
近畿



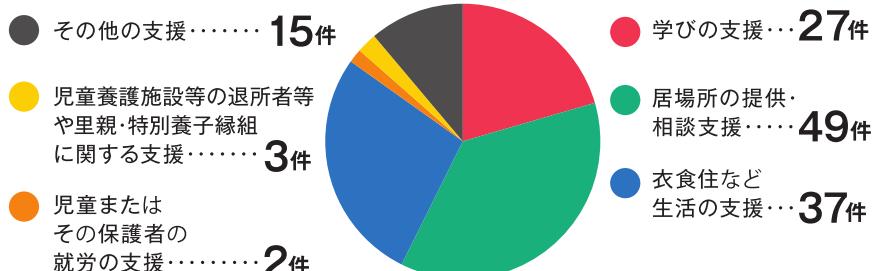
九州・沖縄



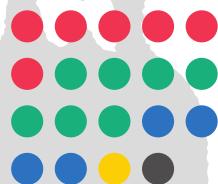
中国・四国



さまざまな分野の 133団体を支援

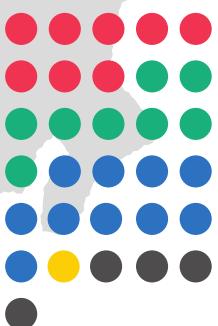


北海道・東北



- 滋賀県 ● Take-Liaison ★
 ● ボランティアグループ「たんぽぽ」★
 京都府 ● お客様がいらっしゃいました。
 ● 子育て支援団体「ママキラ☆プロジェクト」
 ● 京都丹波・丹後ネットワーク
 ● 京都マザーグースの会
 大阪府 ● あっとすぐーる★(兵庫県)
 ● イコルバ!学生会
 ● Orange House
 ● KADOMA中学生勉強会
 ● 輝
 ● 子どもネットワーク ワルツ
 ● こもれび
 ● CPAO
 ● シンママ大阪応援団
 ● J-Loveこども食堂
 ● つながるいのち
 ● とよなかESDネットワーク★
 ● TRANSIT
 ● 浪速地域・地域活動協議会
 ● はっちばっち
 ● ひいらぎの花
 ● ひとことつむぐ★
 ● 東深井つどいば食堂ふらつと
 兵庫県 ● 神戸市職員有志★
 ● 丹波篠山の子どもの食と健康を考える会
 ● 東灘地域助け合いネットワーク
 奈良県 ● せいじゅん たすけあい こども食堂★
 ● ふしみい
 和歌山県 ● 子どもの生活支援ネットワークこ・はうす★
 ● はしぃ子えがおサポート★

関東



- 岡山県 ● CAPプロジェクトおかやま
 ● 子どもソーシャルワークセンターつばさ
 広島県 ● こどもステーション
 ● マール村★
 山口県 ● 異世代交流子育てサロンas is
 ● 川中れんげホーム
 ● キッズラップ
 香川県 ● 小豆島子ども・若者支援機構
 ● ひとり親パートナーズ
 ● メタセコイヤの家
 ● もも
 愛媛県 ● Eince 子供応援隊★
 高知県 ● こども食堂かもだ実行委員会
 福岡県 ● あーすちゃれんじー★
 ● OMUTA BRIDGE
 ● 子ども食堂ネットワーク北九州
 ● 子どもパートナーズHUGっこ
 ● Smileネットワーク北九州★
 ● ふくおかこども食堂ネットワーク
 佐賀県 ● 基山こどもねっと
 ● ただいま
 長崎県 ● 地域密着型憩い場「おあしす」
 ● 長崎村
 熊本県 ● あまりんぐ
 ● シンママ熊本応援団
 ● なんかん未来創造とっぱ隊
 宮崎県 ● pocket
 ● LALASOCIAL
 鹿児島県 ● 親子ネットワークがじゅまるの家★
 ● collage
 沖縄県 ● ゆいまーるひろば

※第6回支援団体一覧。団体名末尾に「★」が付いている団体は、継続支援団体。 ※団体所在地が主たる活動地と異なる団体については、括弧内に団体所在地を記載。

基金の 活用事例

子どもの笑顔が 生まれています。

学びの支援 …… 学習環境の確保、学ぶ意欲や学力の向上など

[大阪府] KADOMA中学生勉強会

経済的理由等で塾に通えない中学生を対象に、「居場所」の視点を重視しながら、学習機会の補充、進学モチベーションの向上や、多様な将来モデル像の提供を目的に活動を行う。

- ・大学生ボランティアによるマンツーマンの学習指導:年55回程度
- ・学習指導の合間に活用した悩み相談体制の構築
- ・大学見学・スポーツ大会・クリスマス会等、各種イベントの開催

＼利用者の声／

勉強をわかりやすく教えていただいたり、大学生と色々なお話ができて楽しかったです。

大学見学や、クリスマス会などの楽しいイベントもあって本当に良かったです！



居場所の提供・相談支援 …… 社会的孤立の解消など

[和歌山県] 子どもの生活支援 ネットワークこ・はうす

コロナ禍の長期化により、経済的困窮や親の過労、孤立などがありますます増加する中、市内の2か所の民家にて家庭的な夕食の提供と学生ボランティアによる学習支援を行うなど、子どもたちが安心できる居場所を地域に定着させる。

- ・民家を利用した居場所の提供:月8回
- ・食材提供を兼ねた自宅訪問によるアウトリーチ:月1回

＼利用者の声／

こ・はうすはとても楽しい所です。大学生が来てくれて勉強を教えてくれたり遊んでくれたりするし、ご飯も美味しいでママが少し樂になるからです。

子どもたちも私もこ・はうでの時間がすごく大切です。これからも大切にしていきたいです。



衣食住など生活の支援 …… 栄養ある食事の確保や正しい生活習慣の習得など

[新潟県] 子どもみらい食堂

経済的困難を抱える子育て世帯や子供たちに、お弁当配食、支援物資の配布などを、子供食堂や個別学習支援とともにを行うことにより、地域全体で包括的な子育て支援を実施する。

- ・子供食堂やフードパンtryの開催:月2回
- ・宿題サポートカフェの開催:週2回、長期休み期間、テスト前
- ・季節感のあるイベントの開催、体験機会の提供

＼利用者の声／

子供がお弁当をとても楽しみにしています。子供だけでなく大人もここのお弁当が大好きで、栄養もとれるので、とてもありがとうございます。いつもおいしいお弁当をありがとうございます。





支援対象となる団体

公益法人、一般法人、NPO法人(特定非営利活動法人)、その他ボランティア団体、町内会など非営利かつ公益に資する活動を行う法人または任意団体

児童またはその保護者の就労の支援

…… 就労率の向上や
安定した収入の確保など

[香川県] 小豆島子ども・若者支援機構

雇用の機会が少ない離島において、生活困窮などの困難を抱える子供たちの自立支援に向け、関係機関と連携を取りながら、相談や体験、訓練の機会を提供することで、社会参加を促し、地域社会での共生を図る。

- ・相談会・マッチング・関係機関への同行支援: 隨時
- ・就労のための体験機会の開催: 月2回～
- ・研修や講師を招いたトレーニング等: 月1回

＼利用者の声／

養護学校卒業後、知り合いに紹介されました。皆と遊べる居場所ができてうれしい。

色々な人がいていいという十人十色にふさわしい団体で、みんなが明るいから安心して来ることができます。



児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援

…… 同施設退所者の生活基盤の確立、里親委託率の向上など

[宮城県] ほつぷすてっぷ

児童養護施設等の退所者、里親家庭の出身者、虐待等、親の支援を受けられない子供と若者を対象に、シェアハウスとサポートハウスを運営し、住宅・生活・就労の支援を行う。

- ・シェアハウスの夜間見守り: 週3回
- ・食事作りのサポート: 週1回
- ・入居者の心理的サポートや役所等の手続き同行、通院同行

＼利用者の声／

入居者やボランティアさんと過ごしている時間は、孤独感も不安もなく過ごすことができました。

お金の管理や自炊などが少しできるようになつたし、一人暮らしはこんな感じなんだだと実感できました。



その他の支援

[神奈川県] ユナイテッドかながわ

困窮世帯の児童を対象に、地域や支援者と関係を構築しながら、子供食堂などの居場所の提供、体験事業の実施、相談活動、見守りの実施など、様々な活動を複合的に実施することで、子供たちを支え、生き抜く力を育む。

- ・子供食堂・学習支援の開催: それぞれ月2回
- ・フードバンチャー: 月2回以上
- ・体験事業(自然・生き物・科学等を学ぶ): 年6回
- ・福祉防災教室事業(街歩きでの防災・森での防災等): 年6回

＼利用者の声／

体験学習で行った八景島では集合時間ギリギリまで遊びました。海に足を入れるととても冷たかったです。

6年生でコロナで中止になってしまったことがたくさんあったけど、八景島で思い出を作ることができて良かったです。



(活用事例は2022年度に予定しているものです)

多くの企業によって 支援の輪が広がっています。

～企業の活動紹介～

① 店舗で募金活動を実施



(株)イトーヨーカ堂は、国内のGMS(総合スーパー)で初めて全店舗の会計レジに募金箱を設置(2016年より開始、毎年3月～5月に実施)。



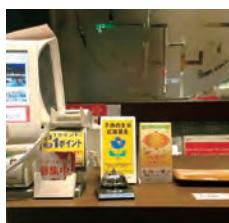
グループ企業の(株)セブン&アイ・フードシステムズも2018年からデニーズ全店舗のレジで募金を実施。



2021年から「セブンマイルプログラム」の寄付メニューに子供の未来応援基金を新設。募金箱を設置する期間中、マイルで寄付できるようになりました。



すかいらーくグループは、ガスト、バーミヤン、ジョナサン等の全国の約2,900店舗で募金箱を設置(2019年より開始)。



食を通じて地域社会に貢献する企業として、子供たちの力になれば、そしてお客様や従業員に子供の貧困問題を知っていただく機会になればという想いで活動しています。



2018年より約40店舗に募金箱を設置。



未来を担う子供たちにたくさんの笑顔があふれるよう、お菓子の販売などを通じて、周知に努めています。

② イベントで募金活動を実施



(株)ミツウロコグループホールディングスは、プロ野球の冠ゲームの協賛を通じたチャリティイベントを開催し、基金への募金活動を実施。



ブースを特設し、チャリティグッズの販売と募金箱への寄付の呼び掛けを行いました。グッズ購入者特典として選手サインボールをプレゼントしました。

③ ポイントプログラムや株主優待に「寄付メニュー」を設置



(株)NTTドコモは、「dポイントクラブ」に寄付メニューを設置してdポイントによる寄付を受付。

国民運動によって、子供たちに温かい目配りがされ、子供たちの毎日の生活が安定し、将来に希望を持てるよう願っています。

ドコモの回線をお持ちでない方も、「dポイントクラブ」へのご入会で、寄付していただくことが可能です。



グンゼ(株)は株主優待の商品一覧に寄付のメニューを設置。



証券業界(日本証券業協会)は、株主優待を活用したSDGsを推進する施策として、「株主優待SDGs基金」を設置し、支援先に当基金を指定。



新光電気工業(株)は、株主優待内容の一つとして「社会貢献活動への寄付」を設定し、寄付先に当基金を指定。



子供の未来応援基金 「クリック募金」

子供の未来応援基金への寄付を受け付ける特設クリック募金サイトを開設。1クリックで1円の募金が可能です。



特設クリック募金サイトは
こちらからアクセスできます。

④ 寄付型自動販売機を設置

自動販売機の売上げ1本ごとに子供の未来応援基金に寄付される仕組みです。

設置の
ポイント

- 設置や置き換え、寄付金の振込代行は自動販売機会社が行います。
- 設置者は電気代のみご負担いただきます。
- ご希望により、ラッピングデザインに会社名やロゴを入れることも可能です。
- 飲料メーカーをお選びいただけます。



日本精工(株)(NSK)
オフィスや工場に23台
を設置



清水建設(株)
本社ビルに
17台を設置



KDDI(株)
オフィスなどに
15台設置



デザインはお選びいただけます。

資料請求・設置のお問い合わせ

特定非営利活動法人
寄付型自動販売機普及協会

0120-937-650 info@kjf.or.jp

5 寄付付き商品や収益から寄付



(株)オランダ家は、2018年から「ミッフィーサブレ」の売上げの一部を寄付。募金箱も各店に設置。2021年から、新たに「メラニーサブレ」も寄付付き商品として販売開始。



(株)ハーバー研究所は、子供から大人まで使用できる日やけ止め「UVキッズジェル」の売上げの一部を寄付。約20カ所に募金箱を設置。



子供の輝く笑顔と未来を願い、子供食堂への食材支援も行っています。



(株)ウイッシュボンはお菓子「横濱みらい」の売上げの一部を基金に寄付。



代表取締役 永野 健一さん

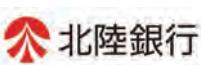


海老名サービスエリア(下り)などで販売中(同社オンラインショップでも購入可)。

報道で基金のことを知り、商品名「横濱みらい」と重なりました。WISH(希望)・BON(良い)の社名の通り、良いお菓子をつくって、社会課題に向き合う企業として、従業員にも還元していくからだと思います。



(株)ナックは、国民運動シンボルマークを用いた特別包装の「台所用スポンジ3色セット」を寄付付き商品として販売し、売上げの一部を寄付。



(株)ほくほくフィナンシャルグループの(株)北海道銀行と(株)北陸銀行は、「SDGs私募債」の発行手数料の一部を寄付できる仕組みを実施。



(株)フォレスト・ワンは、プレオルソ(こども歯ならび矯正装置)を寄付付き商品として医療機関向けに販売。



横浜FC((株)横浜フリエスポーツクラブ)は、ホームタウンの商店と連携し、オフィシャルマスコット「フリ丸」の焼印を使用したどらやきやパンなどを製造・販売。売上げの一部を寄付。



©YOKOHAMA FC



綜合警備保障(株)(ALSOK)は、ホームセキュリティ関連商品の収益の一部を寄付。契約者向け季刊誌でも普及啓発に協力。

